

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

第 12 回 中山間地域振興特別委員会記録

日 時 平成 31 年 1 月 21 日 (月)
 13 時 ～ 15 時 50 分
 場 所 全 員 協 議 会 室

【出席者】 飛野委員長 布施副委員長 三浦委員 西川委員 川上委員 柳楽委員
 串崎委員 上野委員 岡本委員 芦谷委員 永見委員

【議長団】

【事務局】 小川局長 新関係長

議 題

1 浜田市公民館連絡協議会との意見交換

●公民館の活動状況の説明を受け、意見交換を行った。

2 集落機能の維持対策について(提言について協議)

●防災無線についての意見が出されたが、情報の調査・研究テーマのところでは具体的な論議を行うこととした。

●提言案について自由討議を行った。

3 その他

○次回開催 2月27日(水) 13時00分

議題 1. 浜田市公民館連絡協議会との意見交換

(省略)

議題 2. 集落機能の維持対策について(提言について協議)

飛野委員長

協議に入る前に前回 1 1 回の当委員会にて、いよいよ提言のまとめをしました。正副委員長と三浦委員とでフローチャートを作成し、皆さんにお配りしています。この資料をもとに概略についての説明から入らせていただきます。フローチャートの説明を三浦委員からお願いします。

三浦委員

(資料をもとに説明)

飛野委員長

続いて資料 1 について、布施副委員長から説明をお願いします。

布施副委員長

(資料をもとに説明)

飛野委員長

皆さんの意見をお聞きしたいと思いますが、おかげさまでほぼ、まとめができてきたのではないかと考えています。最後の詰めで今日これをご披露しました。できれば 3 月議会で提言できたらということ踏まえながら、説明にあった内容についてご意見いただきたいと思ひます。

岡本委員

三浦委員、副委員長の説明について私も概ね同意ですが、先ほどの公民館とのやり取りで 1 点気になることがあります。防災無線を使う話がありました。議員同士の情報交換をすると、旭と金城は防災無線を使って集会やイベントのご案内をしているから参加率が良いとのことでした。それに対し浜田管内は人に周知する方法、情報提供が乏しいと思ひています。この辺について提言ができないのかと思ひました。皆さんの意見もあればお聞きしたいです。防災無線が使える状態にしていくべきだと思ひ、周知・集客に繋がるのだらうと思ひます。

飛野委員長

今の話に関連して何かご意見は。

柳楽委員

先ほどの話で誤解があつてはいけないので説明しますが、全ての地域行事について放送を使うのではなく、公民館事業の中でも大きいものや、金城町全体に関わるようなものについては放送していただけますが、全てではないので、そこは分かつておいていただけたらと思ひます。

岡本委員

それは理解しています。例えば浜田市内で色んなイベントがあります。福祉フェア、駅前フェスタが実際行われていますが、そういう器具を使つてのご案内はないです。たまたま市報や公民館だよりを見て知るくらいで。そういう活動も皆さんに、中山間地域の問題ではあるけど、例えば中山間は長見とかここにもあるわけですから、そういうのを踏まえて浜田という 1 つの区分けができないなら、その中でもご案内があつても良いのかな、そういう使い方はできないのかな、提案ができないのかなと思ひています。

飛野委員長

私も使つて良い悪いの規定を勉強してなくて分からない部分がありますが、今は色んなものに使つているのは確かで、どういふ活動に使えるのかはちょっと……。熊の話、災害、消防団の話、農協の苗配布まで

三隅は放送しています。研究することで案外広がってくるのではと思います。

串崎委員

弥栄も農協の苗の話、まちづくりでやる大きな事業に対して放送があります。なおかつ不幸の報告があります。収益に関する宣伝はできませんが、大きな事業はお知らせがあります。岡本委員の話もよく分かりますが、中山間地ということでもありますし、長見や田橋もありますが、そういうところの無線がどのようになっているか勉強不足ですが、そうしたところからやっていくべきと思います。

布施副委員長

今年度予算で拠点公民館には wi-fi 環境が整うよう工事をしている最中です。防災無線に限らず、何らかの媒体を使ってやれる可能性も出てきます。中山間地域でまず必要なのは、狭い・広いは別にして人口規模が多いところと少ないところ、少なければ伝わりやすいですし、多いと色んな人がいるから伝えにくい。公民館のコミュニティセンター化する際はもう少し細分化して考える必要があるのでは。そうすれば公民館が今何をしているかの情報が伝わりやすくなると思います。その辺がベースになるのではと思います。

芦谷委員

防災無線の発信局が、各自治区とも恐らく役場しかないと思います。浜田の場合、仮に出すとしても全市域に広がるので、細かい催しに関して地区のものは難しいと思うのと、それでなくとも反響して聞こえにくい、受信機がない家もある。これだけ基盤が違っていると、他自治区と浜田が一緒のことをするのは難しいなど。

広報は公民館だより、自治会だより、地区社協だより、まちづくり委員会だよりがあります。おそらくそれは出すところ出さないところ各地区バラバラで、情報媒体のつくり方も含めて状況把握して整理する必要があると思っています。

飛野委員長

他にこの件について何かありますか。

永見委員

防災無線で発信するにも、発信元が内容によって……浜田市は当然本庁から発信されています。各自治区は恐らく支所から発信されている。防災関係の内容によっては消防署から発信される場合もあります。内容によってというのは、各自治区で調整が必要ではないかと思います。金城については柳楽委員が言われましたが、あとは催し物についてもその自治区の内容で、盆踊り等を放送しています。営利上の問題についてはおそらく受け付けてくれないし、放送回数も確か2回までという制限が金城の場合はあったと思います。おくやみについても2回、催し物も例えば夜やって翌朝やるというように2回の放送でいたい終わっています。催し物を主宰する団体が支所に放送依頼をする状況ではないかと思います。浜田市は防災だけの発信だと理解していますが、内容は把握していません。

西川委員

浜田自治区の防災無線の関係ですが、今あるのは各自治区が合併前に整備したもので、浜田自治区以外は戸別無線があつて運用も防災以外にも運用できるのだと思います。今日聞くと特定の地区だけで情報が流せ

るみたいですが、浜田自治区は多分一括で細かい集落単位で流せないの
でなかなか難しいだろうと感じています。

飛野委員長

色んな意見がありました。冒頭にも言いましたように提言の取りまと
めのタイミングに入っています。その中で、今の情報通信の問題は大き
な要素だと思っています。情報通信、交通の問題等は次のテーマに挙が
ってくる可能性があります。すぐにこの取りまとめは難しいと私なりに
と思っています。だから次の調査研究テーマでも出てきますので、この辺
はそちらでと考えるとと思いますがいかがでしょうか。

(「はい」という声あり)

引き続き継続でこの件については考えていきたいと思えます。

他の要素について、三浦委員。

三浦委員

まず提言1の住民アンケート実施ですが、できたら統計データと併せ
て分析をきちんと行うことというような文言を是非入れていただきたい
という希望が1つ目です。

2つ目は、提言4の予算に関してですが、これも初動を軽くするのは
実証実験みたいなものを含めてという意味合いで私は申し上げたので
すが、予算がどういうことに使って良いのかの枠を柔軟に持たせること
で地域の方々に使いやすい財源を確保できると、いろんなことをまずや
ってみようと言えらると思えます。その予算規模がどれくらいなのか議論
しないといけないと思えますが、そうした意味合いも含められるような
文言を是非追加していただきたいのと、予算については少し気になって
いるところがあり、最後の要望1に、十分な予算措置をされたいと書か
れていますが、十分な予算とは一体どのくらいなのかは委員会の中で議
論して提言すべきなのか、こういった提言書はバクッと出さざるを得な
いのか、どういう出し方をすべきなのか、どこまで落とし込むのかは委
員会の中で議論しても良いのかなと思いました。適切な予算とはいくら
なのかと……。

布施副委員長

答えになるか分かりませんが、適切な予算とは限りがないと思えます。
集落機能の部分もあるでしょうし、防災無線を活用した周知の仕方の予
算もあると思えますし、鳥獣被害対策についても予算が必要になっ
てくると思えます。集落機能に対して十分な予算措置を講じられたいと
は、ここまでなら十分というのが漠然としていて、特定の考えがない状
態です。各論を積み上げた時点での予算が集落機能維持にも必要になっ
てくるような予算だというような感じ方で、まとめさせてもらったので
すが、皆さんどうでしょうか。

芦谷委員

自治区の特別委員会も関係する話で、自治区では地域協議会の意見を
しっかり反映して地域振興計画や予算化しようということになってい
ます。地域の声、地域協議会からの意見・提言をしっかり予算化する
という文言でも入れれば、と思えます。このままだと中途半端な言い方
で、何を根拠にということはある方が良く思いました。

飛野委員長

この部分、もう少し意見を聞きたいと思えます。お願いします。

柳楽委員

この中で、既存事業とは別枠の予算確保を検討すべきとあります。既存事業があつてそれとは別という考え方が理解できてないのですが。決められた予算よりも上乘せの予算を付けることを検討という意味で捉えて良いのですか。

布施副委員長

既存予算とは違うものをというのは、草刈りにしても去年上がりました。しかしまちなかの中山間部分の草刈り労働力と、例に出して申し訳ないが弥栄だと、同じ面積でもできない人が実際にいるわけです。今認められているのは、基本的には住民が出てメートルあたりいくらですが、それもできなかつたら業者に頼んでやってもらう。ただし業者のやり方も値段が高かったりします。住民が組織を起こしてやる場合にも手当すべきだと、そういう新しい予算組みも考えて提言するべきではないかという意味合いで書かせていただきました。

もう1つは、金城で大きな草刈りの機械の実験がありました。大変高額ですが本当に必要なら地域協議会が買えるように予算の半分を出して、管理はその人がやるというようなところまで含んだ予算付けをするべきではないかという意味合いも含んでいます。そういう思いです。

芦谷委員

副委員長の言を少し言い換えれば、執行部は予算提案する、施政方針をする、議会も同意する、その視野の外にある事業という意味だと思います。今までの常識外の予算までも確保しなさいという意味と捉えて良いと思います。ただ、この提言の文言は詰めたものではないから、今から理屈づけをしていくのが難しい面もあります。

永見委員

予算付けの関係、まちづくり総合交付金等はどうなのですか。地域アンケートの分析云々で、まちづくり中山間地域研究センター等に依頼されてアンケートを取られたり分析をお願いされているまちづくりもあると思います。そのあたりはまちづくりの関係からなので、実際にそこあたりから経費についていくらかはお金が出ていた、どの程度かは理解していませんが。

布施副委員長

まちづくり推進委員会を作っているところは良いですが、まだ作っていないところもある。まちづくり推進委員会に充てられている予算があるところ、ないところがある。先ほどフローチャートをもとに三浦委員が言われましたが、コミュニティセンターの基盤は町内だと。町内でまちづくりやっているところがある。予算がなくてもやらないといけないからやっている、その分についても手当すべきだという意味合いも入っています。

飛野委員長

委員から色んな意見が出るということは、何か補足説明が必要だろうと思っています。意見が出た項目については再度文言を検討させていただきたいと考えます。また皆さんにご報告して決めていただきたいと思います。そういう形でよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ではそういうことで。この提言についてその他にありますか。

永見委員

フローチャート内のコミュニティセンターの規模は概ね中学校単位

三浦委員

としてありますが、各自治区では中学校単位ではいささか範囲が広すぎるのではないかと思うので、協議させていただきたいと思います。

中学校単位と書かせていただいたのは、自治区制度の議論も踏まえながら書いた部分があつて。本委員会ではここまでの議論はされてないので、こちら側は取っても良いと思いますが、自治区制度のことを考えると、特に浜田自治区においてはあまりに現在の公民館の割り方がすごく広すぎたりして、そうすると地域活動として情報を束ねるのがかなり難しい部分があるだろうと。永見さんがおっしゃったように例えば金城はどのくらいのエリアでコミュニティセンターを設置するべきかというのは、これから議論していくべきことだと思いますので、この部分が先走りし過ぎていると言えるところもあるので、この部分は最終的に取っていただいても良いと思います。

芦谷委員

中学校単位と言いたい気持ちも分かりますが、今後公民館がベースになるので、小さい公民館の再編も踏まえて公民館単位をベースにするのが。例えば石見や浜田は分館の話もあるので、是非その辺は公民館再編を促す意味で。なお中学校単位ということもあると思います。例えば三中は長浜と周布があるから、中学校では難しいと感じます。

飛野委員長

大分論議も尽くされてきたようです。こういう形で最終的なものを皆さんにまた見ていただきたいと思います。どうでしょうか。

(「はい」という声あり)

ではそのように諮っていきたいと思います。

これ基本的には提言に付けるということで、こちらは本音の部分で、これではなくこれで。

芦谷委員

中山間の提言の最後3つ結論がありました。予算と総合振興計画と施政方針と。この具体的なまとめの方向性と三浦委員の説明は、少し噛み合いません。強いて言えば正副委員長に任せますが、最後3つのまとめについては、もっと具体的に例も入れると。総合振興計画に入れれば済む話だけど、それだとなかなか実効性が伴わないので、できれば例示も含めて具体的なことをしてもらいたい。

それと三浦委員の提案の連携フロー、これとの絡みをきちんとしてもらいたいと思いました。執行部が見ても分かるように。

飛野委員長

ありがとうございます。では、一番大きな要素があつたと思いますが、正副委員長にたたき台はお任せいただけますか。

(「はい」という声あり)

ではそのように進めてまいりたいと思います。事務局から何かございますか。

(「ありません」という声あり)

議題3. その他

飛野委員長

その他、何かございますか。

小川事務局長

2月9日に県の地域づくりの集会が大田であり、井野のまちづくり推

三浦委員
飛野委員長

進委員会が事例発表されます。参加希望の方は、申し込みが必要なので
言ってください。

私も分科会のファシリテーターをやります。

ファシリテーター頑張ってください。その他は以上ですか。

(「はい」という声あり)

では次回の開催です。このタイミングでいくと、2月の終わりですか。

《 以下、次回開催について協議 》

ということで、次回開催は2月27日(水)13時からでございます。
よろしくをお願いします。

以上で第12回特別委員会を終わらせていただきます。

(閉 議 15時50分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 飛野弘二 ㊟